令和８年度 第１回 稲沢市図書館協議会 議事録（要旨）

１	日　　時	令和８年５月２９日（金）　午後２時から午後３時３０分まで
２	場　　所	稲沢市立中央図書館　研修室
３	出席委員	①小中学校校長会代表　常盤圭
	※欠席なし	②小中学校教頭会代表　岸美千代
		③子ども会連絡協議会代表　窪崎香
		④図書館ボランティアきらら会代表　田中真由美
		⑤図書館ボランティアせせらぎ代表　大目木京子
		⑥子育て支援関係者　浅野順子
		⑦子育て支援関係者　服部祐子
		⑧学識経験者　田中明子
		⑨学識経験者　伊東啓子
		⑩学識経験者　安田剛章
４	会議同席者	教育長　渡辺孝雄
		教育部長　大口伸
５	事 務 局	館長　中田晶博　　主幹　中島稔　　主幹　花田陽子
６	傍 聴 者	村上悦子
７	議　　題	（１）令和７年度図書館事業実績について
		（２）令和８年度図書館事業計画について
		（３）第４次稲沢市子ども読書活動推進計画について
		（４）その他

【開会】　　※会議の進行：中田館長

〇あいさつ（渡辺教育長）

〇配布資料の確認

〇会議の成立報告　※委員定数（10 名）の過半数出席で成立。

〇新任の事務局職員の紹介（中田館長、中島主幹、粂田統括官、田中主任、林主事補）

※林主事補は不在のため、氏名の紹介のみ。

〇会長挨拶（伊東会長）

〇会長の議長選出

〇議事録署名者（２名）の指名（①常盤委員、⑩安田委員）

〇議長の会議取り回し開始

〇協議事項（１）「令和７年度図書館事業実績について」（事務局説明、資料１）

・２ページ、「読み聞かせボランティアフォローアップ講座」が２つあるため、片方削除を依頼。

（委員）※１ページ最下段「3 蔵書冊数」を差して

蔵書冊数について、昨年度の中間発表の資料と比べて、今回の最終結果資料で冊数が減少した理由は何か。

（事務局）

毎年１月に蔵書点検を実施しており、その際に実施する除籍処理による影響です。

（委員）※１ページ中段「2 貸出冊数等利用状況」を差して

図書館利用者数が、前年度と比べて減った理由は分かるか。

（事務局）

これから分析します。※電子書籍の貸出増加と関係している可能性あり。

（委員）※８ページ下段の年齢別利用者人数を差して

１３歳から２９歳までの数値が低い。この層をターゲットに絞り取り組めば、効率的に読書率のアップが期待できる。何らかの対応を進めてほしい。

（事務局）

若い読者層に向けた対策を強化します。

〇協議事項（２）「令和８年度図書館事業計画について」（事務局説明、資料２）

（委員）※２ページ最下段の「～クラフト作成会」を差して

長年、平和町図書館でのイベント開催を望んでいて、今回、平和での初開催はとても喜ばしい。どのような経緯で実現したのか。

（事務局）

図書館協会からの案内メールで見つけて、講師への報償費や交通費等をすべて向こうで負担していただけることから、すぐに申込したものです。（講師の方と何か縁があったわけではない。）

（委員）※１ページ上段「～ノートを作ろう」を差して

最近では、手作りノートをシール帳に活用する例も見られる。成果物をすぐに持ち帰りでなく、エントランスホールに展示してみてはどうか。

（事務局）

展示に向けての課題を調査します。

（委員）※３ページ下段の愛知文教女子短期大学（令和８年度以降の学生募集停止）との連携事業を差して

愛知文教女子短期大学がもうすぐ閉校するので、代わりのイベントを探してほしい。

（事務局）

連携できる学校を探します。

〇協議事項（３）「第４次稲沢市子ども読書活動推進計画について」（事務局説明、資料３）

・資料 3-4 の別紙１において、愛知県立稲沢緑風館高等学校とするべきところ、「稲沢」が記載もれのため追記を依頼。

（委員）※子どもの読書活動に関するアンケート（小学校（児童用））を差して

小学校２年生向けに、Ｑ２－７記述式の問いは少し難しい。見直してはどうか。

（事務局）

小学２年生用と小学５年生用に分けることを検討します。

（委員）※同アンケートの４ページを差して

Ｑ５-３に電子図書館利用の設問がある。利用サービス対象を市外の方（在勤・在学）へ拡大してはどうか。

（事務局）

人口規模による利用料体系であるため、利用対象者を広げることにより本市予算を圧迫する恐れがあり、中々難しい。

（委員）

読書の概念として、Audible（オーディオブック）の利用を含めるかどうか。海外では当たり前に認知されている。この際、質問を新設してはどうか。

（事務局）

過渡期を踏まえて、アンケートの質問に入れる方向で協議します。

（委員）※先述の同アンケートの３ページを差して

Ｑ３-６の設問の他の選択肢として、「一人になれて落ち着けるため」、「知りたいことが分かるから」という選択肢があってもよいのでは。

（事務局）

ご指摘のとおり見直します。

（委員）※ブックスタートに関するアンケートのお願いを差して

保健センターだけでなく、未就園児が集まる別の施設として、例えば児童クラブ等でも実施してはどうか。

（事務局）

関係施設と協議します。

（委員）※ブックスタートに関するアンケートのお願いを差して

Ｑ６の新型コロナ～などの表示が古い。

（事務局）

令和８年用に修正します。

（委員）※中学生、高校生用のアンケートを差して

Ｑ１-６のこの部分だけ公立図書館と表示されていて気になる。

（事務局）

修正します。

○協議事項（４）「その他」（事務局説明、口頭で２件）

・本年度、図書館協議会を秋に追加開催する理由について、令和９年度から委託契約する中央図書館運営業務のプロポーザルによる業者選定結果を、速やかに報告するためであることを説明。

・貸出券の代理申請に係るトラブルを報告。市民から審査請求書が提出され、審査の結果、代理申請を認めるべき、との裁決が出され、結果として代理申請での貸出券発行を行ったもの。

今後、内規を定めるなどの対応を進める。

（委員）

事務局として内規を作るのか。

（事務局）

そのとおりです。

※以下、委員からの自由意見

（委員）

人権の本のテーマコーナーを設置してほしい。

（事務局）

男女共同参画のテーマコーナーと同様、所管課から依頼があれば取り組みます。

（委員）

図書館ボランティアきらら会と市の社会福祉協議会で、福祉をテーマに取り上げ、読み聞かせ（読書）活動として、読み聞かせ会（８～９月）を実施している。

（委員）

高校生の図書館利用が少ないことから、高校生ボランティアを活用してはどうか

（事務局）

他部署の先行事例を研究します。

（委員）

図書館の貸出資料には、点字図書や録音図書もある。

朗読ボランディアであるグループせせらぎでは、朗読と音訳作成の活動をしている。音訳の記録媒体は、昔はカセットテープだったが、現在ではＣＤ（デイジー規格）へ移行された。

〇議事終了し、全て承認された。事務局へ進行戻し。

〇閉会あいさつ（教育部長）

【閉会】